

「うたの道」
第2回小学生俳句大会開催

うたの道づくりの会（会長 小野義廣）が、昨年に引き続き「第2回小学生俳句大会」を開催、町内小学校に秋の俳句を募集したところ、伊田小学校、拳ノ川小学校、南郷小学校、三浦小学校の児童113人から計313句の応募がありました。

11月18日には道の駅ビオス おおがた情報館内で表彰式が行われ、入賞者13人と保護者や学校関係者らが参加しました。

表彰式では、学校での俳句指導にも携わっている同副会長の宮川昭男さんから「今回は素敵な作品が多くあり、選ぶのは大変でした。俳句は目と心を働かせ、自然の中の触れ合いや生活の中から生まれてきます。俳句以外でも、普段から日記を書いたり、詩などにも挑戦してみてください。いろんなことに頑張つて、みんなと仲良く豊かに育つて欲しいと思います。」と講評がされ、入賞者一人ひとりの作品が紹介されました。



特選

第一席 風せんが飛んできそうな秋の空

南郷小学校6年 西 若菜

第二席 赤とんぼ つくし教室にとまったよ

三浦小学校4年 濱村麻耶香

いがの中 ぴかぴかひかる くりがある

南郷小学校5年 田辺 瑞紀

第三席 どんぐりを つなぎあわせて 首かざり

伊田小学校6年 松山 海人

授業中 きんもくせい の いい か おり

拳ノ川小学校6年 今西 瑞紀

入選

あさのみち コスモスイエ わらって

南郷小学校1年 敷地 果珠

かけっこで おとうさんより は や かつ た

南郷小学校1年 松田 竜弥

本をみる ふしぎをさがして 秋のよる

南郷小学校2年 米津 真珠

花取りの 秋の祭りが 楽しみだ

三浦小学校3年 金子竜之伸

どんぐりを 拾って みたら ぼうしつき

三浦小学校4年 山本 紗羅

オナモミを 人に ひつつけ しらんぶり

伊田小学校4年 宮地 春日

コスモスよ いっぱい咲いて ありがとう

伊田小学校5年 若藤 弘平

校舎とも あと半年の おつきあい

拳ノ川小学校6年 江口 奈穂

南郷小学校の活動紹介

南郷小学校では、1年生から6年生の全学年の国語の授業に俳句づくりを取り入れられています。

昨年からは、町内で俳句活動を行う宮川昭男さん（うたの道の会副会長）を招き、俳句を基礎から学び、俳句大会への応募や新聞機関への投稿なども行うようになりました。

また、職員室前の廊下には子どもたちの入賞作品が並ぶ「うたの道」が設置されるなど、以前よりも俳句が子どもたちにとって身近なものとなってきたそうです。

南郷小学校では、全学年で、俳句づくりをはじめ、地域と



廊下に特設した「うたの道」には、第2回小学生俳句大会で入賞した作品が並んでいました。



俳句の授業の様子。書いては消しを繰り返し、全員が懸命に俳句を考えている姿が印象的でした。

関わりながら、さまざまな活動を行っています。植田教頭先生からは「子どもたちはそれぞれ、勉強が得意な子、スポーツが得意な子、その他のいろいろな活動をする中で得意な面を見せてくれます。南郷小学校では、一人ひとりに何かひとつ自信が持てるきっかけづくりをしたい。ひとつのことに自信がつくと、多方面にも興味や目が向き、学問やスポーツにもつながっていくと考えています。これから子どもたちには、たくさんさんのことを経験してもらいたいと思います」と、子どもたちへの思いを話してくれました。



「大きさが均等になるように切るがぜよ」と西村さん(写真右端)

12月9日、町内でまちづくり活動を行う団体「なぶら」(藤井元洋会長)が豆腐づくり体験を実施、町内外から親子連れや夫婦など、なぶら委員を含む24人が参加し、豆腐一筋60年の西村幸男さん(西村食品)に昔ながらの豆腐づくりを教わりました。

前日から水付けしていた7升の大豆をミキサーにかけ、大釜で加熱、熱が通ったため汁が一気に溢れそうになると、参加者から「わあ」と驚きの声があがりました。

「おいしい豆腐は何が一番の決め手ですか」「にがりはどれくらい入れたらいいでしょうか」参加者からは多くの

なぶら自然体験学校「豆腐」づくり体験で地域住民が交流

質問も出ていました。

豆腐ができあがると、参加者全員で、炊き込みご飯や手作り豆腐入りのお味噌汁、持ち寄り豆腐入りのお味噌汁、味噌や漬物などで昼食を楽しみました。作りたての豆腐を口に「おいしい!」「大豆の香ばしい味がする」と味も大変好評。みんなで協力しながら料理をしたことで交流も生まれ、会場は温かい雰囲気になりました。



「お豆腐が一番おいしい!」と子どもさんにも大好評でした

なぶらボランティア募集

- ・花植えをいっしょにしてくれる方
- ・草刈り機を使用できる方

○なぶら事務局

佐賀総合支所 総務課内

☎55-3113

第14回「鉄道の日」土佐くろしお鉄道からボランティア感謝状が贈られました

土佐くろしお鉄道では、毎年10月14日の「鉄道の日」にあわせ、中村・宿毛線各駅の清掃美化や営業活動などを行っている個人・団体に対し、感謝状と記念品の贈呈式を行っています。

10月14日、第14回「鉄道の日」に、土佐くろしお鉄道中村駅構内で、黒潮町(荒井数子さん、尾崎正光さん、松井忠臣さん、矢野三郎さん、中山美代子さん)・四万十市・四万十町・宿毛市の11個人と7団体へ、日ごろの活動への感謝とねぎらいの気持ちを込めて感謝状と記念品が贈られました。



子ども広場「いそべウオーク」黒潮町海岸制覇!

11月17日、教育委員会が小中学生を対象に行っている「第4回子ども広場」が開かれました。今回は町内の自然を体感しながら黒潮町海岸制覇を目指して「いそべウオーク②」を計画、各小学校から参加した11人の児童が入野から上川口の蜷川河口までの道のりを、貝殻を拾ったり磯遊びをしながら歩いていきました。

途中、横断する河川を同伴したスタッフに背負われながら渡り、子どもたちは大はしゃぎでした。目的地に辿り着くとホッとした様子で、焼き芋を食べたり、仲良くなった友だちと遊んだり、楽しい1日となったようです。



歩くのは大変だったけど、楽しかった!

入野小学校4年生 黒砂糖は味に「く」がある!

入野小学校4年生が「総合的な学習の時間」を活用して「黒潮町を探ろう」と12月13日、町の特産物のひとつである黒砂糖について、小橋正義さん(黒潮町製糖生産組合長)と役員職員から、黒砂糖の原材料であるサトウキビの話や、多種類の砂糖の味比べや、ボカを使った黒砂糖づくりを学びました。

子どもたちはサトウキビを初めてかじり「甘い!」と感激、小橋さんの「昔は子どものおやつやった」との話に驚きの顔を隠せない様子でした。「黒砂糖がこんなにも時間をかけて作られることを知ってすごいなと思いました」「黒砂糖は白い砂糖よりもくが あった」など子どもたちはたくさんの発見をしていました。



できあがった黒砂糖でおやつを作りました